



ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島

過去の活動（2012年）

2012年11月17日 「第2回ひろしま健民コンクール」 優秀賞受賞

場所：広島市南区民文化センター（広島市南区比治山本町）
主催：ひろしま健康づくり県民運動推進会議



ひろしま健康づくり県民運動推進会議主催の第2回ひろしま健民コンクールにおいて、ブレストケア・ピンクリボンキャンペーンin広島実行委員会はがん対策部門で「優秀賞」に輝きました。

「食育」、「禁煙」、「運動」、「こころ」、「がん対策」の5つの部門で優秀賞に選ばれた団体、個人が広島市南区民文化センターにおいて活動発表を行い、同じ場所で最優秀賞が発表されました。

残念ながら、当ピンクリボン実行委員会は最優秀賞は逃しましたが、

これまでのキャンペーン活動の様子をスクリーンで紹介し、趣を凝らした元気あふれるプレゼンは、大変好評のようでした。

当実行委員会は2013年で設立10周年を迎えます。これからも、広島に根付いた市民活動として、



乳がん早期発見のためのピンクリボンキャンペーンを、地道に着実にやってまいります。

（上写真）大会会長で元広島東洋カープ選手衣笠祥雄と。

2012年9月29日 第6回 「ピンクリボンdeサンフレッチェ」開催

場所：広島ビッグアーチ（広島市安佐南区）（現 エディオンスタジアム広島）



対サガン鳥栖戦で、第6回目となる“ピンクリボンdeサンフレッチェ”を開催、広島ビッグアーチ（現 エディオンスタジアム広島）のおまつり広場は、早朝から多くのサポーターや家族連れで賑わいました。

安田大学書道ガールによる作品の横断幕に、会場に訪れた皆さんから



サンフレッチェ選手へたくさんの応援メッセージをいただきました。安田大学の学生たちも一緒になって、企画から当日運営までを行うため、夏休み中も、バイトや勉強の合間に計画を進めていました。

ピンク色のテントでは、



広島県臨床検査技師会、細胞検査技師会による「がん細胞をみてみようコーナー」のほか、東芝製マンモグラフィ機器の展示と放射線技師会によるマンモグラフィ検査についての説明があり、多くの方で賑わっていました。





オリジナルストラップづくりのコーナーでは、お子さまを中心とした参加者が、安田大学の学生に教わりながらオリジナルのピンクと紫の素敵なストラップを作っていました。選手のサイン入りボールやユニフォームが当た

るくじ付きとあって、100セットはあっという間になくなってしまいました。

また、スタンプラリーでピンクのテントを回り、乳がんについて詳しくなって、カルビーのお菓子がもらえるという催しも。さらにマンモグラフィ搭載検診車が2台やってきて、事前



に申し込まれた方を中心に約80名の方に無料でマンモグラフィ体験検診を受けていただきました(協力: 広島県地域保健医療推進機構、広島県集団検診協会)。

マンモグラフィ検診車の前のテントでは、触診模型を8台設置し、看護師さんたちの指導のもと、自己触診を学びました。若いカップルから親子



連れまで多くの方が参加されました。この日は、サッカー観戦に来られた多くの方々に、乳がん検診を受けましょう!と効果的にアピールでき、乳がん早期発見の大切さを伝えることができました。



☆ご支援に感謝いたします。

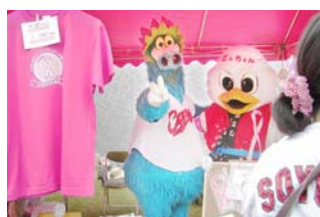
2012年6月11日 「ピンクリボンdeカーブ in みよし」開催
(プレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 広島実行委員会協力事業)
主催: ピンクリボンキャンペーン in みよし実行委員会
場所: 三次市きんさい球場(三次市東酒屋町)



三次市女性団体や医療機関、乳がん患者会などで組織するピンクリボンキャンペーン in みよし主催による三次市で初めての「ピンクリボンdeカーブ」が開催されました。

当実行委員会はこの活動に協力し、活動費の一部を助成しました。

乳がん自己検診コーナーでの触診指導のほか、アンケート調査、総合検診(がん検診)の啓発と申し込みの受付も行っていました。



スライリーと三次きんさい祭のマスコットキャラクターどんちゃんも、乳がん早期発見のための検診を受けよう、とPRしてくれました。ピンクリボンPRのためのうちわ7,000枚が来場者へ配布されました。試合5回終了後のPRタイムでは、三次高等学校チアリーディングチームのパフォーマンスがあり、観客の皆さんはうちわを振って応援しました。